

魚津市子ども・子育てニーズ調査設問項目について

平成 25 年 10 月 2 日（水）

(1) 国で示されているアンケート調査項目（20ページ程度）

◎は国が示す「量の見込みの推計上、必要な項目」（必須）、●は「その他の項目」（任意）

大項目	設問項目	必須 任意	【国】 問 No.	【未就学児】 問 No.	【就学児】 問 No.	【参考】 前回調査	削除 候補	理 由
対象者の 属性	居住地区	◎	1	1	1	○		
子ども及び 保護者の 環境	子どもの年齢	◎	2	2	2	○		
	兄弟姉妹の人数／末子の年齢	●	3	—	—	○	✓	削除しても後の設問などにも特に影響がないと思われるため
	調査票の回答者	◎	4	3	3			
	回答者の配偶者関係	◎	5	4	4			
	子どもの世話を主にしている人	◎	6	5	5	○		
	同居・近居の状況	—	—	6	6	○		
子育て環境	子育てを主にやっている人や施設	●	7	(5)	(5)		✓	国設問6との違いがなく、問 15-1でもまかなえるため
	子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境	●	8	7	—	○		
	日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無	●	9	8	7	○		
	祖父母にみてもらっている状況	●	9-1	—	—	○	✓	困難である、などに意見が集中することが想定されるため
	友人・知人にみてもらっている状況	●	9-2	—	—	○	✓	
	子育てをする上での相談できる人・場所の有無	●	10	9	8	○		
	子育てに関しての相談先	●	10-1	9-1	8-1			
子育てをする上で、周囲からの必要なサポートについて	●	11	—	—		✓	自由記述欄については、最後にまとめて掲載	
就労者の 保護者の 状況	父親・母親の就労状況	◎	12	10	9	○		
	就労時間（週あたり、1日あたり）／家を出る時間・帰宅時間	●	12-1	10-1	9-1	○		
	父親・母親のフルタイムへの転換希望	◎	13	10-2	—	○		

25.10.2 少子化対策推進協議会資料④

	未就労の父親・母親の就労希望	◎	14	10-3	-	○(母親のみ)		
--	----------------	---	----	------	---	---------	--	--

25.10.2 少子化対策推進協議会資料④

大項目	設問項目	必須任意	【国】 問 No.	【未就学児】 問 No.	【就学児】 問 No.	【参考】 前回調査	削除候補	理由
平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	定期的な教育・保育の事業の有無	◎	15	11	—	○		
	定期的にご利用している平日の教育・保育の事業の内容	◎	15-1	11-1(1)	—	○		
	定期的にご利用している平日の教育・保育の利用頻度／利用希望頻度	◎	15-2	11-1(2)	—	○		
	定期的にご利用している平日の教育・保育の事業の実施場所	●	15-3	—	—		✓	他市町村でのサービス利用がほとんどないため
	定期的にご利用している平日の教育・保育の事業の主な理由	●	15-4	11-1(3)	—	○		
	教育・保育の事業を利用していない理由	●	15-5	11-2	—	○		
	利用の有無にかかわらず、平日定期的にご利用したいと考える教育・保育の事業内容	◎	16	12	—	○		
	教育・保育事業を利用したい場所	●	16-1	—	—		✓	問 15-3と同様
	教育・保育サービスを利用したい理由	—	—	—	—	○	-	
地域の子育て支援事業の利用状況	地域子育て支援拠点事業の利用状況	◎	17	13	—	○		
	地域子育て支援拠点事業を利用していない理由	—	—	—	—	○		
	地域子育て支援拠点事業の将来的な利用希望	◎	18	14	—	○		
	各事業の認知度、利用の有無、利用希望	●	19	15	—	○		
土曜・休日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望／利用したい時間帯	◎	20	16	—	○		
	毎週ではなく、たまにご利用したい理由	●	20-1	—	—		✓	施策への反映が難しいと考えられるため
	幼稚園利用者の長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望、利用希望時間	◎	21	17	—			
	毎週ではなく、たまにご利用したい理由	●	21-1	—	—		✓	施策への反映が難しいと考えられるため

25.10.2 少子化対策推進協議会資料④

大項目	設問項目	必須任意	【国】 問 No.	【未就学児】 問 No.	【就学児】 問 No.	【参考】 前回調査	削除候補	理由
子どもの病気の対応(平日の教育・保育を利用する人のみ)	子どもの病気やけがで通常の事業が利用できなかったことの有無	◎	22	18	(10-1)	○		
	子どもが病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合の対処方法・日数	◎	22-1	18-1	-	○		
	できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか/利用したいと思った日数	◎	22-2	18-2	-	○		
	病気やけがで子どもを預ける場合、望ましいと思う事業形態	●	22-3	-	-		✓	設問、選択肢が分かりづらく、保護者の立場から回答しづらいため
	病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	●	22-4	-	-		✓	市内に病児・病後児保育施設が、現在キッズベアーしかないことや、これらを把握しても、計画への反映が難しいため
	できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	●	22-5	-	-		✓	"
	休んで看ることは考えられない理由	●	22-6	-	-		✓	"
不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業の内容、日数	◎	23	19	-	○		
	利用していない理由	●	23-1	19-1	-			
	私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、事業を利用する必要があると思う日数	◎	24	20	-	○		
	私用等で子どもを預ける場合に望ましいと思う施設等の事業形態	●	24-1	-	-	○	✓	設問、選択肢が分かりづらく、施策への反映も難しいため
	保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった時の有無/対処方法、宿泊数	◎	25	21	-	○		
親族や知人にみてもらった際の困難度	●	25-1	-	-		✓	「困難」に回答が集中することが想定されるため	
ベビーシッターの利用	ベビーシッターの利用の有無	-	-	-	-	○	-	
	利用目的	-	-	-	-	○	-	
	利用頻度	-	-	-	-	○	-	
	希望する利用時間数	-	-	-	-	○	-	
	利用していないが利用したい人の希望時間数	-	-	-	-	○	-	

25.10.2 少子化対策推進協議会資料④

大項目	設問項目	必須 任意	【国】 問 No.	【未就学児】 問 No.	【就学児】 問 No.	【参考】 前回調査	削除 候補	理 由
ファミリーサポートセンターの利用	ファミリーサポートセンターの利用の有無	—	—	—	—	○	—	
	利用目的	—	—	—	—	○	—	
	利用頻度	—	—	—	—	○	—	
	希望する利用時間数	—	—	—	—	○	—	
	利用していないが利用したい人の希望時間数	—	—	—	—	○	—	
小学校就学後の放課後の過ごし方	小学校低学年（1～3年生）時に放課後過ごさせたい場所・日数	◎	26	22	11、14			
	小学校高学年（4～6年生）時に放課後過ごさせたい場所・日数	◎	27	23	11、14			
	放課後児童クラブの土曜日と日曜日・祝日の利用希望・希望利用時間	●	28	24	12			
	長期休暇期間中（夏休み・冬休み等）の放課後児童クラブの利用希望・希望利用時間	●	29	25	13	○		
ワーク・ライフ・バランス	父親・母親の育児休業制度の取得状況	●	30	26	—	○		
	父親・母親が育児休業制度を取得していない理由	●	30	26	—			
	育児休業給付、保険料免除の認知度	●	30-1	—	—		✓	細かい制度の話になるため割愛
	育児休業取得後の職場への復帰状況	●	30-2	26-1	—			
	育児休業取得後の職場への復帰のタイミング	●	30-3	26-2	—			
	職場復帰時の実際の取得期間と希望	●	30-4	—	—	○	✓	取得期間を数量的に把握しても、施策などに反映しづらいため
	勤め先で育児休業が3歳まで取得可能な場合の希望取得期間	●	30-5	—	—		✓	施策への反映が難しいため
	希望の時期に職場復帰しなかった理由	●	30-6	—	—		✓	30-4を削除するのであれば、あわせて削除
	職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況	●	30-7	—	—		✓	
	短時間勤務制度を利用しなかった理由	●	30-8	—	—		✓	短時間勤務制度を取り入れている企業が少ないため、有効なサンプル数が得られにくいと考えられる
子どもが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうか	●	30-9	—	—		✓		
教育・保育環境の充実など子育て支援に関して	●	31	27	17		✓		

25.10.2 少子化対策推進協議会資料④

大項目	設問項目	必須 任意	【国】 問 No.	【未就学児】 問 No.	【就学児】 問 No.	【参考】 前回調査	削除 候補	理 由
ワーク・ライフ・バランス	育児休業後、希望する保育サービスを利用できたか	—	—	—	—	○		
	期間調整したが、希望する保育サービスを確実に利用できたら育児休業期間をどうしたか	—	—	—	—	○		
	希望する保育サービスを利用できなかった人の対応	—	—	—	—	○		
	「仕事時間」と「家事（育児）などの生活時間」を比較した優先度【希望】	—	—	—	—	○		
	「仕事時間」と「家事（育児）などの生活時間」を比較した優先度【現実】	—	—	—	—	○		
放課後児童クラブの利用状況	利用の有無	—	—	—	10	○		
	利用状況・要望	—	—	—	10-1	○		
	未利用者の状況	—	—	—	10-2	○		
その他	子育てを楽しんでいることが多いか	—	—	—	—	○		
	希望時期に、希望した保育サービスを利用できたか	—	—	—	—	○		
新規追加分	子育ての父親と母親の役割			○	15			
	教育・保育事業を選ぶ際に重視する点			○				
	子どもを健やかに育てるために地域で必要だと思う取組			○	16			
	公立保育所の民営化をどのように考えるか			○				
	民営化にあたり、どうすれば民営化しても良いか			○				
	幼稚園・保育園整備の望ましい進め方			○				